



プロジェクト写真



建物概要

事業主 : 北川村
 建築地 : 高知県安芸郡北川村小島121
 敷地面積 : 3134.15㎡
 延床面積 : 1475.74㎡
 用途 : ホテル・旅館
 構造・階数 : CLT造+RC造(一部木造)/地上2階 地下1階
 木材使用料 : CLT 449.28㎡+その他構造材・造作材・下地材148.18㎡ 計597.46㎡
 工期 : 平成29年5月～平成30年5月
 補助金 : 高知県観光拠点整備事業5000万円・サステナブル建築物先導事業9200万円
 高知の山間に静かに佇む木造建物。河畔と山里の眺望を取り込む設計になっており、来るものを癒します。村産材を活用することで宿泊施設のみでなく、村の活動拠点の中心を担う施設となっている。肌に優しく馴染む源泉100%の温泉も絶品、泉質はナトリウム塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉で切り傷、末梢循環障害、冷え性等に効果があります。



設計趣旨

高知県東部の数少ない温泉施設としてアピール度は高く、CLTの温泉施設活用は初で注目させている。CLTパネル工法とRC造を組み合わせで別棟とし、本館はCLT工法の3棟、RC造2棟（耐火建築物）、浴室棟：RC造一部木造1棟（準耐火建築物45分）で構成。

CLTパネル工法を主に、ウォールガーター（壁梁・2階に配置する大版CLTパネル）が2階床CLTパネルを支える事で長スパン構造を実現するとともに、小屋組、屋根は木造木軸組構法を採用している。

また、CLTパネル工法部分の一部を表しとすると共に、RC造部分も木材を内装に積極的に用い、木質化を図っている。

材料面では、木材は村有材から配給を計画し、直材は梁とし、小曲材はCLTとして利用することにより、地域内での加工率を高めて地域経済の活性化を図る計画である。

地域材をCLT等に活用し、CLT表しを適切なコストで実現する建築物のモデルとして、普及性・波及性が期待できる。

その他として

- ・構造計算は告示のルート3（保有水平耐力計算・限界耐力計算）で行うことで、設計・実証実験期間の短縮とコスト削減を推進、部材寸法の統一化にも注力した。
- ・2階宿泊部分が300㎡以上であり準耐火建築物となるが、村産材を利用したCLTが多様されている為、内装に木質表しを推進。新しい燃えしろ設計では材積がかさみコスト高となる為、別棟通達を採用し防火上の遮断を行い準耐火建築物の要件を緩和させた。
- ・遮音については、宿泊施設として必要とされるLH60以下を目指す。日本CLT協会による遮音性能データ等、既往の研究を活用して界壁及び床の構造に関する検討を行う。具体的にはCLT床版の上を二重床（空間）とし、アスファルトマット・耐水合板・フローリング等を重ね貼りし適切な遮音を実現しています。

設計者

意匠 (株)倉橋建築計画事務所

構造 (株)日本システム設計

設備 (株)エネ・グリーン

施工 (株)田邊建設

アクセス

住所：

〒781-6451

高知県安芸郡北川村小島

121

0887-37-2321

JR高知駅から列車で80分

奈半利駅からバスで25分（土佐くろしお鉄道ごめんなはり線 終点駅で北川村営バスに乗り換え）

小島下車から徒歩で1分

